

認知症マフ ワークショップ TOKYO



muff

Workshop

認知症の人に使ってもらえるマフ(円筒型のニット小物)の製作、普及を紹介するワークショップを開催します。イギリスの病院や高齢者施設で使われているtwiddlemuff(トゥイドルマフ)は、認知症の人が手を通すと安らいだ気分になるといわれています。ワークショップでは、NHK教育テレビ(Eテレ)出演などでご活躍中のニット作家・能勢マユミさんと一緒に、実際にこの認知症マフを編んでいただきます。また、実際に手作りの認知症マフを使い始めている病院やボランティア活動グループの担当者から活動を報告していただきます。

新型コロナウイルスの感染拡大によって自宅で過ごす時間が増えています。マフ作りを通じて認知症のことや当事者のこと、地域づくりについて考えていただけることを願っています。

プログラム

- 13:00~13:15 認知症マフの基礎知識
朝日新聞厚生文化事業団大阪事務所・森田英枝
- 13:15~13:45 活動報告① 山形県鶴岡市立荘内病院での取り組み
認知症看護認定看護師・富樫千代美さん
活動報告② 認知症マフ活用ガイドについて
浜松医科大学臨床看護学講座教授・鈴木みずえ先生
活動報告③ ボランティアによる取り組み
大阪市天王寺区オレンジキャラバンの会みんなのカフェ代表・西村由紀子さん
- 13:45~13:55 休憩
- 13:55~15:20 マフ作り体験 ニット作家・能勢マユミさん
- 15:20~15:30 質疑応答、アンケート記入

2022年
12/3(土)

13:00~15:00

(開場 12:30)

会場 有楽町朝日スクエア

東京都千代田区有楽町2-5-1
有楽町マリオン11F

定員 50名

主催 朝日新聞厚生文化事業団

ACCESS



参加費 3,000円

(材料代、資料代込)
当日会場でお支払いください

申し込み 朝日新聞厚生文化事業団ホームページからお申し込みください。
(※定員になり次第受け付け終了)

問い合わせ 朝日新聞厚生文化事業団 担当:森田

電話 070-3349-4847(平日10:00~18:00) Eメール aswo-osaka@asahi.com

朝日新聞厚生文化事業団

検索



※ 新型コロナウイルスの感染状況によって開催延期やプログラムに変更が生じる場合がありますのでご了承ください。当日は37.0度以上の発熱、咳、喉の痛みがある方のご参加はご遠慮くださいますようお願い致します。また、会場では検温、手指消毒、マスク着用、換気にご協力をお願い致します。



朝日新聞厚生文化事業団